

Annual Report

2014.4~2015.3



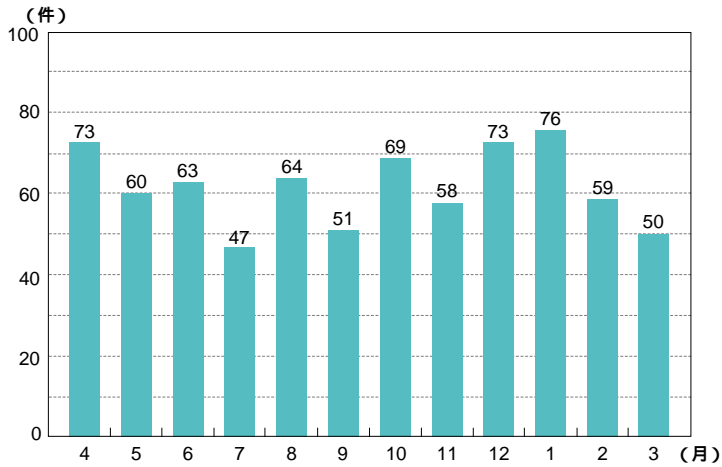
DATA FILE

CONTENTS

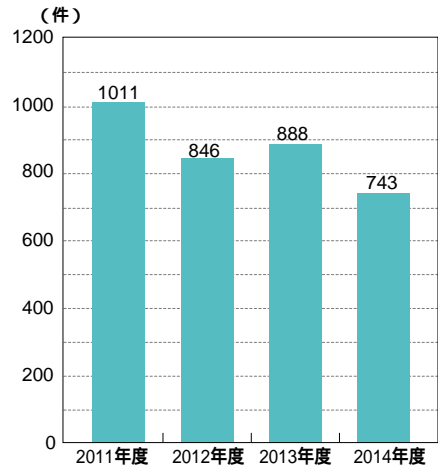
入院相談状況／入院状況	2
医療連携／回復期リハビリテーション対象入院患者 疾患別リハビリテーション内訳／回復期リハビリテーション病棟データ①	3
回復期リハビリテーション病棟データ②／退院状況	4
入院リハビリテーション状況／マルチルーム利用状況	5
霞ヶ関中央クリニック（訪問医療）／霞ヶ関中央クリニック（訪問リハ）／訪問看護ステーションスマイル 各利用状況	6
ホームヘルパーステーション コール／デイホスピタル（通所リハ） 外来リハ各利用状況	7
デイリハビリテーションセンター（通所リハ）／ケアラウンジ南大塚（通所介護）／居宅介護支援事業所しんしあ 各利用状況	8
地域包括支援センター かすみ・たいとう／SKIPトレーニングセンター／霞ヶ関南病院 外来 各利用状況	9
各研究大会における発表演題	10
実習・施設見学受入状況／震災支援ボランティア活動	11
行事報告	12
事故届事例分類／職員構成	13
Financial Summary	14
Chronology 医療法人 真正会のあゆみ	15

●入院相談状況

入院相談状況月次推移

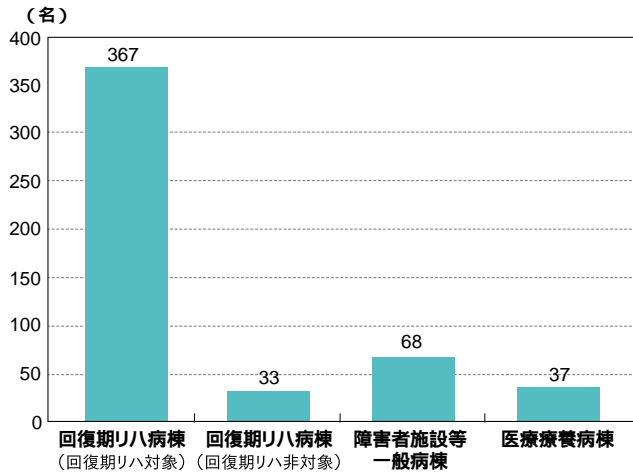


入院相談状況の推移

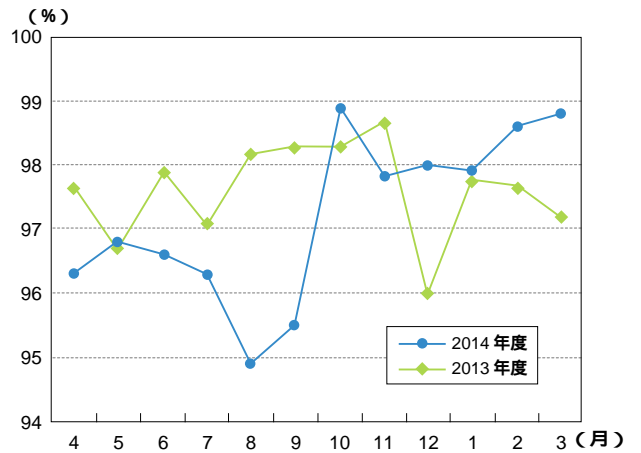


●入院状況

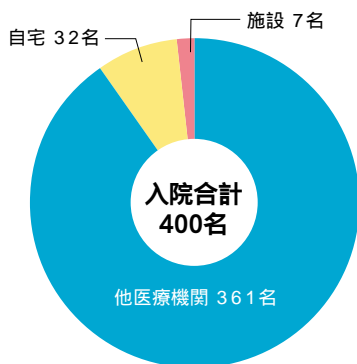
2014年度 霞ヶ関南病院入院患者数



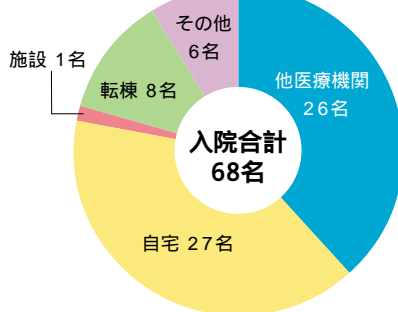
ベッド稼働率



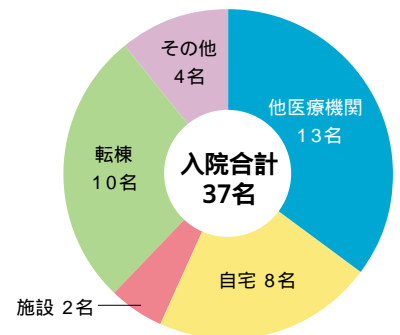
病棟別入院経路



回復期リハビリテーション病棟



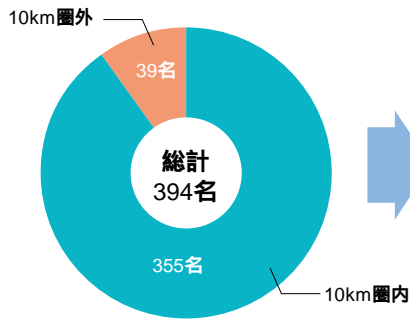
障害者施設等一般病棟



医療療養病棟

●医療連携

紹介元医療機関

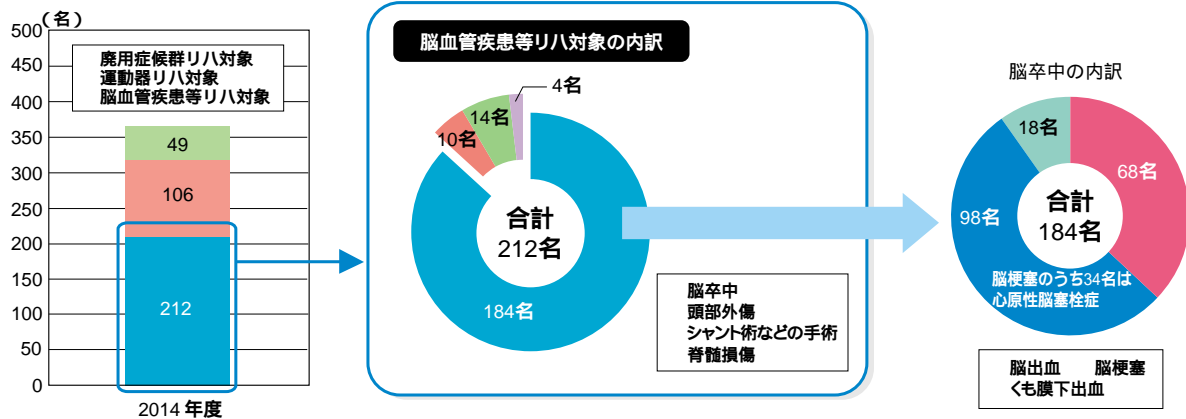


10km圏内医療機関の紹介患者数

埼玉医科大学国際医療センター(日高市)	70名
埼玉石心会病院(狭山市)	58名
埼玉医科大学総合医療センター(川越市)	56名
武蔵野総合病院(川越市)	52名
関越病院(鶴ヶ島市)	29名
池袋病院(川越市)	25名
赤心堂病院(川越市)	18名
三井病院(川越市)	14名
入間川病院(狭山市)	6名
康生会病院(川越市)	6名

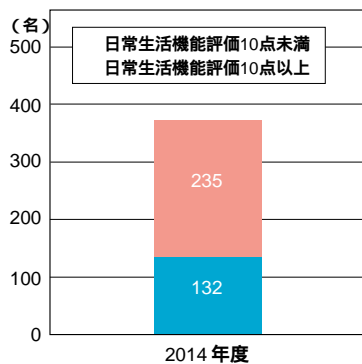


●回復期リハビリテーション対象入院患者 疾患別リハビリテーション内訳

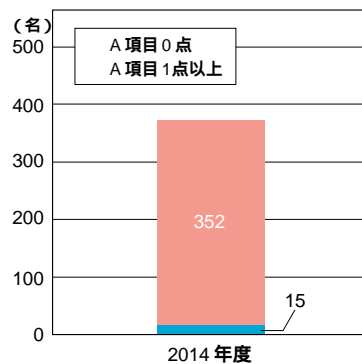


●回復期リハビリテーション病棟データ①

入院時日常生活機能評価



入院時看護必要度A項目



●回復期リハビリテーション病棟データ②

入院時データ mean±SD(median)

	発症年齢	発症から入院までの日数(日)	FIM運動	FIM認知	日常生活機能評価(点)
脳血管疾患等 (n=212)	71±12(72)	37±13(38)	39±22(36)	19±9(18)	8±5(8)
運動器疾患 (n=106)	81±9(83)	35±13(34)	47±17(50)	24±8(25)	6±3(6)
廃用症候群 (n=49)	76±13(78)	29±19(25)	34±19(31)	17±8(16)	10±4(9)

退院時データ(疾患別入院日数、FIM利得・効率) mean±SD(median)

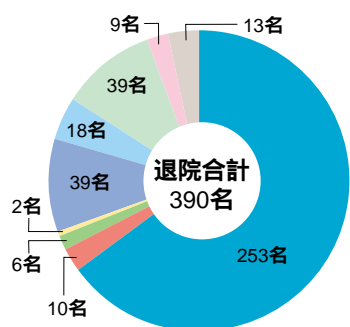
	入院日数(日)	入院時FIM	退院時FIM	FIM利得	FIM効率
脳血管疾患等 (n=171)	137±61(150)	63±30(64)	93±32(108)	31±19(29)	0.27±0.20(0.22)
運動器疾患 (n=107)	78±25(88)	71±23(76)	94±26(105)	23±13(24)	0.33±0.25(0.28)
廃用症候群 (n=31)	78±35(82)	50±27(43)	64±36(70)	15±16(13)	0.23±0.24(0.16)

日常生活機能評価・重症患者回復率 回復期リハ算定期限内退院者対象

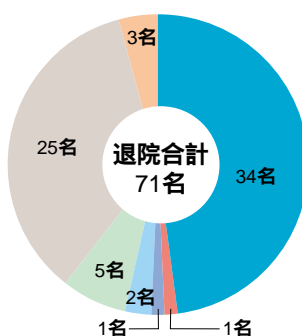
	2014年度
退院患者のうち、入院時の日常生活機能評価10点以上であった患者	55名
上記のうち、退院時日常生活機能評価が3点以上改善した患者	32名
日常生活機能評価が3点以上改善した重症者の割合	58%

●退院状況

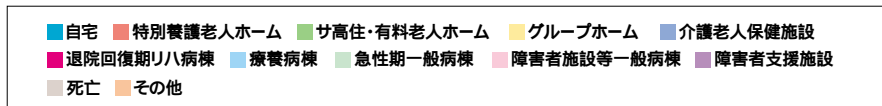
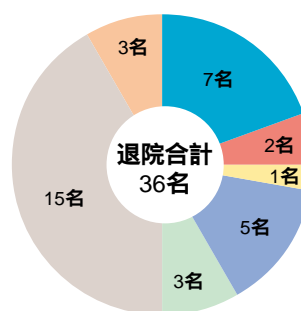
回復期リハビリテーション病棟



障害者施設等一般病棟



医療療養病棟



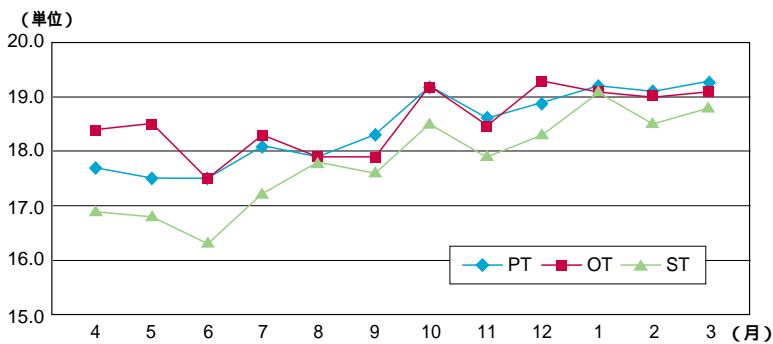
自宅退院患者の利用サービス状況 重複あり、コメケア入院の再開も含む

	外来	訪問医療	外来リハ	デイホスピタル	デイリハビリテーションセンター	通所介護	訪問看護	訪問リハ	訪問介護	居宅
全体(累計)	38	30	29	20	73	4	37	47	10	49
	14%	11%	11%	7%	27%	4%	37%	17%	4%	18%
回復期病棟(累計)	30	9	25	19	43	3	16	38	8	24
	11%	3%	9%	7%	16%	1%	6%	14%	3%	9%

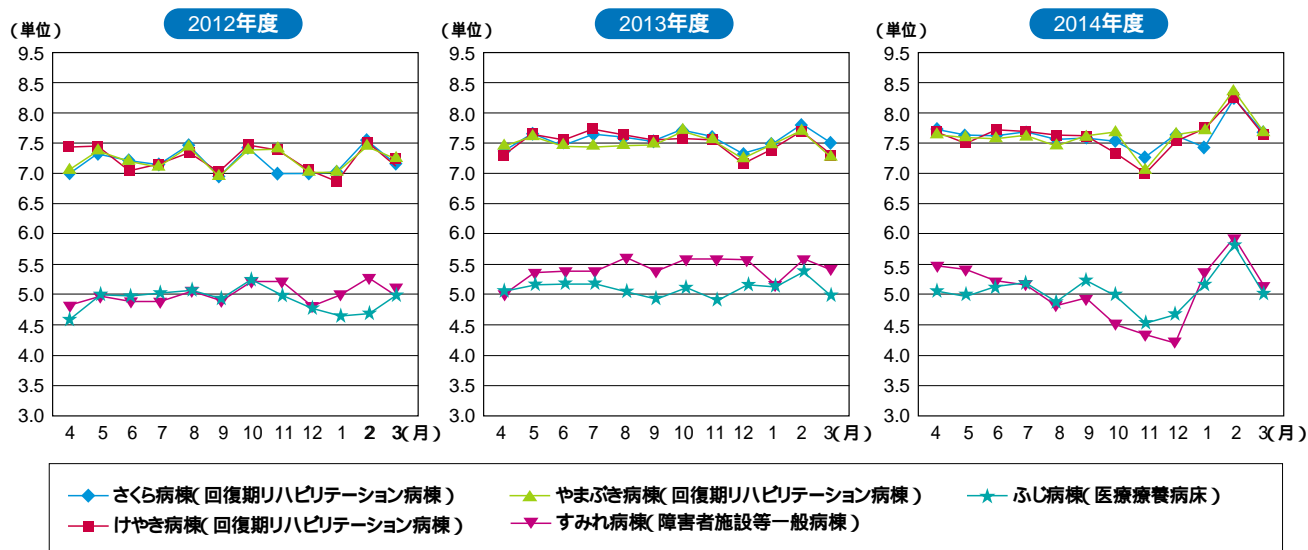
2014年度 法人の在宅サービス平均利用率 54.8%

●入院リハビリテーション状況

入院スタッフ1名の1日平均単位

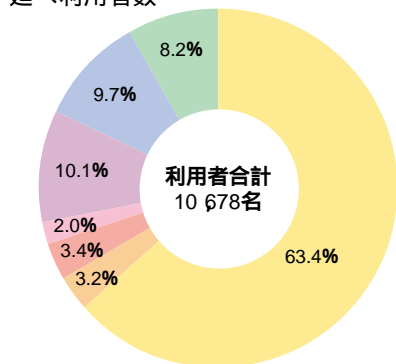


病棟別患者1日あたり実施単位数(平均)



●マルチルームの利用状況

延べ利用者数



入院	6,770名
デイホスピタル	340名
SKIP	358名
外来	212名
家族	1,078名
一般	1,040名
アダーズ	880名

活動内容

活動名称	内容
倶楽部活動	・書道倶楽部 ・グループ体操 ・おはりに倶楽部 ・みんなの音楽 ・僕らの音楽 ・麻雀倶楽部 ・絵画倶楽部 ・絵手紙の会
マルチルーム	・手工芸(30種類) ・音楽 ・ゲーム(卓球、Wiiなど)

教室一覧(延べ実施回数と延べ参加人数)

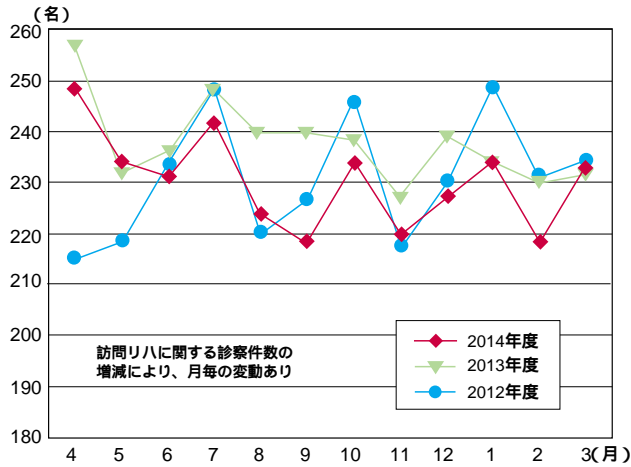
教室名	実施回数	延べ参加人数	教室名	実施回数	延べ参加人数
フラワーアレンジメント教室	3回	15名	書道教室	3回	18名
手作りパン教室	3回	34名	エコクラフト教室*	3回	9名
手作りアロマ教室	2回	5名	絵手紙教室*	2回	5名
ウクレレ教室	1回	12名	プリザードフラワー教室*	1回	5名



* 2014年度開始の教室

●霞ヶ関中央クリニック（訪問医療）

訪問医療 利用者数(含・特養)

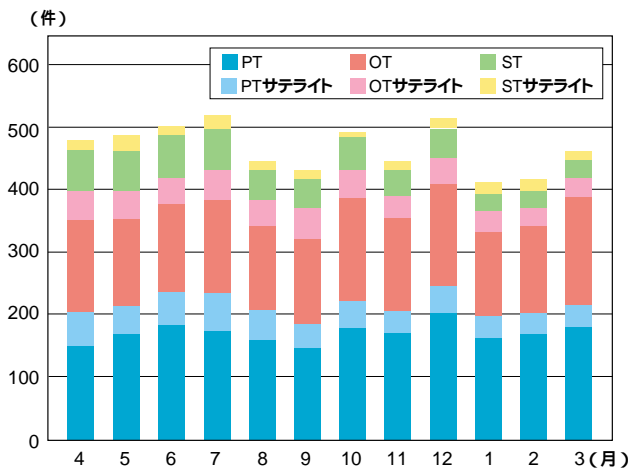


1ヵ月あたりの実績(2014年度)

訪問診療利用者数	107.6名
訪問診療延べ回数	居宅療養管理指導 102.4回 往診 13.2回 訪問看護 0.9回
訪問リハビリ診療延べ回数	訪問 20.1回 外来 17.1回
真寿園入所者診察回数	195回
看取り件数	在宅 0.83件 真寿園 1.4件
新規・終了者数	新規 3.0件 終了 4.3件

●霞ヶ関中央クリニック（訪問リハ）

訪問リハ 職種別訪問件数

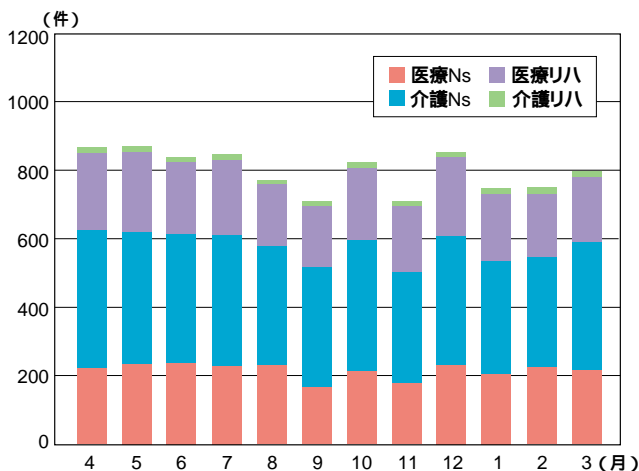


1ヵ月あたりの実績(2014年度)

訪問リハ利用者数	本体事業所 114.8名 サテライト事業所 26.9名
訪問リハ延べ回数	PT 214.6回 OT 188.5回 ST 65.1回 述べ 468.5回
平均介護度	2.8
新規・終了者数	新規 7.6名 終了 8.5名
加算算定件数	訪問介護連携 0.1件 短期集中リハ 9.2件
頻度割合	週2回 6.1% 週1回 69.9% 月2回 18.9% 月1回 4.3% 不定期 0.3%

●訪問看護ステーション スマイル

職種別訪問件数

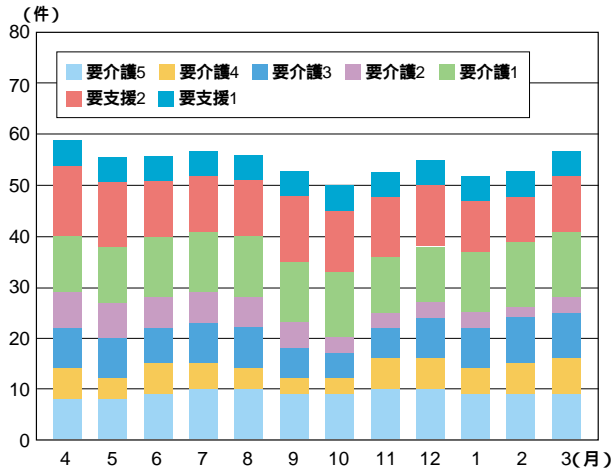


1ヵ月あたりの実績(2014年度平均)

訪問看護利用者数	看護 151.8名 PT・OT・ST 55.8名 併用者 17.5名
訪問看護延べ件数	看護 579件 PT 105.4件 OT 73件 ST 41.3件
平均介護度	3.0
新規・終了者数	新規 7.3名 終了 8.1名
24時間体制対応件数	日中電話相談 29件 夜間電話相談 44件 緊急訪問(日中) 6.4件 緊急訪問(夜間) 16件
加算算定件数	緊急時訪問看護加算 128件 特別管理加算 42件 退院時共同指導加算 2.1件 初回加算 3.5件 ターミナル加算 1.1件 情報提供 39.4件

●ホームヘルパーステーション コール

要介護度別訪問件数

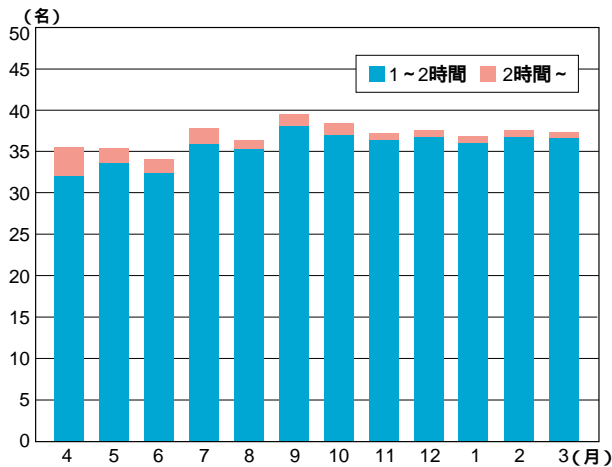


1ヵ月あたりの実績(2014年度平均)

利用者数	55.8名
延べ件数	生活援助 53件(9%) 身体介護 387件(68%) 複合 130件(23%)
新規・終了者数	新規 0.9名 終了 1.6名
平均介護度	2.9
加算算定件数	初回 1.3件 緊急時加算 0.3件 生活機能向上 0.3件

●デイホスピタル (通所リハ) ・外来リハ

平均利用者数



デイホスピタル・1ヵ月あたりの実績(2014年度平均)

通所リハ利用者数	160.3名
通所リハ延べ回数	960.8回
平均利用者数(1日あたり)	37.2名
平均利用率	76.4%
平均介護度	1.53
新規・終了者数	新規 6.4名 終了 5.6名
新規経路割合	在宅 49% 南回復期 33% 南外来 11% 急性期 5% 他回復期 1% 施設 1%
転帰先割合	目標達成 17% 入院・入所 9% 死亡 1% サービス移行 41% その他 32%
利用時間別割合	1~2時間 155.6名 2時間以上 4.7名
加算算定件数	リハマネ 10.3.9件 個別リハ 1106件 短期集中リハ 59.8件 居宅訪問 8.4件 認知症リハ 0件



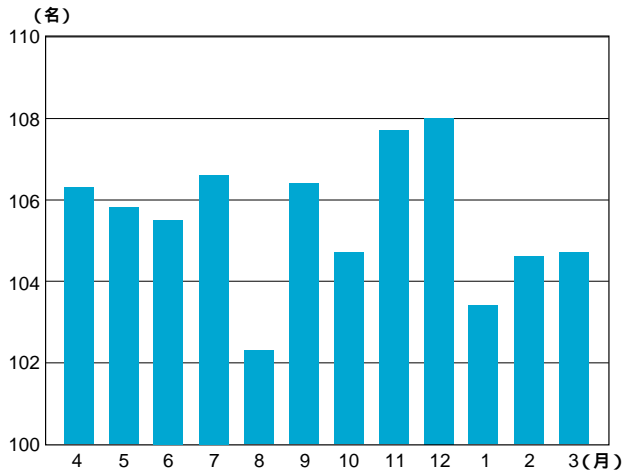
外来リハ・1ヵ月あたりの実績(2014年度平均)

外来リハ利用者数	59.5名
外来リハ延べ回数	373.4回
新規・終了者数	新規 16.8名 終了 18.1名
新規経路割合	南 42% 他院 4% 本人・家族 7% その他 46%
転帰先割合	目標達成 43% 入院・入所 4% 法人内サービス移行 7% その他 46%
疾患別割合	脳血管疾患 77% 運動疾患 8% 神経難病 15%



●デイリハビリテーションセンター（通所リハ）

平均利用者数

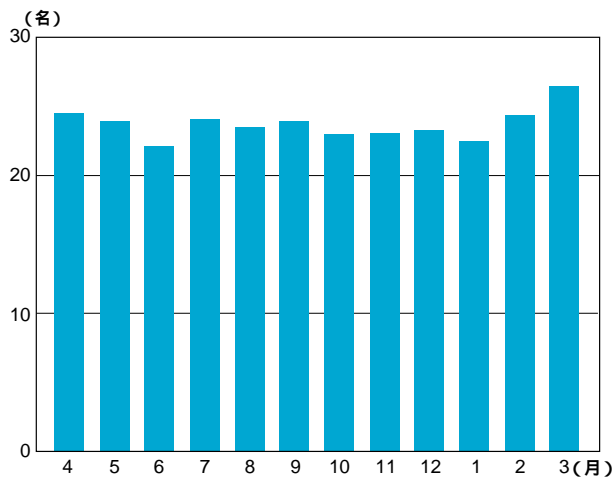


1ヵ月あたりの実績(2014年度平均)

通所リハ利用者数	325.4名
平均利用者数(1日あたり)	105.5名
平均利用率	80.0%
平均介護度	2.8
新規経路割合	在宅 40% 南回復期 18% 南維持期 7% 急性期 23% 他回復期 5% 他維持期 1% 施設 6%
転帰先割合	目標達成 2% 入院・入所 46% 死亡 17% その他 35%
利用時間別割合	4~6時間 32.2% 6~8時間 67.8%
加算算定件数	リハマネ 299.5件 個別リハ 2595件 短期集中リハ 244.6件 認知症短期集中リハ 10.2件 重度療養管理 100.6件 居宅訪問 20.3件

●ケアラウンジ南大塚（通所介護）

平均利用者数

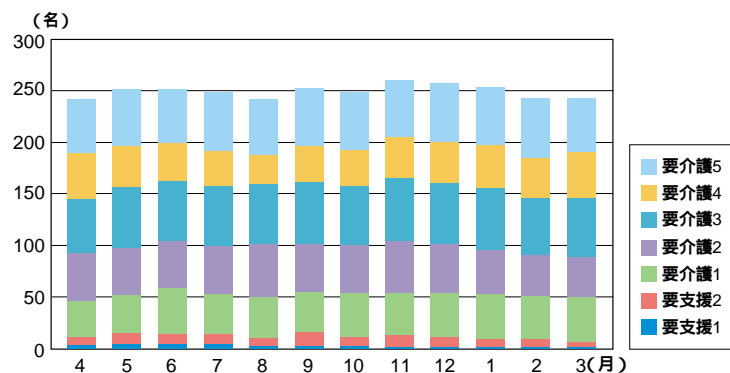


1ヵ月あたりの実績(2014年度平均)

通所介護利用者数	86.2名
平均利用者数(1日あたり)	23.7名
平均利用率	81.2%
平均介護度	1.8
平均新規利用者数	1.7名
新規経路割合	在宅 65% 南回復期 30% 急性期 5%
平均終了利用者数	1.7名
転帰先割合	入院 25% 入所 20% 死亡 5% その他 50%
平均利用時間別割合	2~3時間 6.3% 3~5時間 2.8% 5~7時間 90.1% 7~9時間 0.8%
加算算定件数	選択複数実施(運動器・栄養) 7.9件 運動機能向上 13.9件 個別機能訓練 473.7件 個別機能訓練 262.8件 栄養改善 15.2件 入浴介助 400件
ときも運動教室	平均利用者数 10.8名 平均利用回数 77.7回 利用率 89.6%

●居宅介護支援事業所 しんしあ

要介護度別給付管理数



1ヵ月あたりの実績(2014年度平均)

給付管理数	245件
受託プラン件数	11.7件
平均介護度	2.98 介護度3~5の割合:63.9%
新規・終了者数	新規 6名 終了 5.8名
平均担当件数	38件
加算算定件数	初回 4.6件 入院時連携・ 7.9件 退院退所 5.1件、認知症 50.1件

●地域包括支援センター かすみ・だいとう

各種事業の実施状況(2014年度)

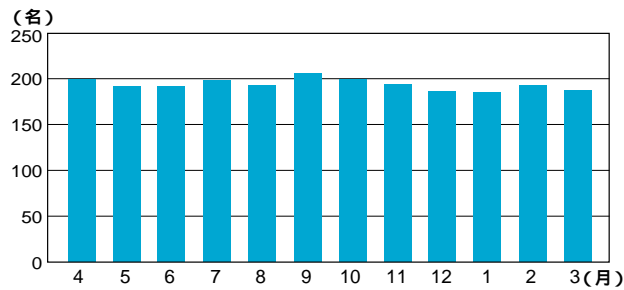
	かすみ	だいとう
認知症サポーター養成講座	3回 160人	8回 251人
介護予防サポーター養成講座	12人	10人
出張相談会	12回	11回
出張講座	26回	26回
認知症家族介護支援教室	4回	3回
オレンジカフェ(認知症カフェ)	36回	29回

1ヵ月あたりの実績(2014年度平均)

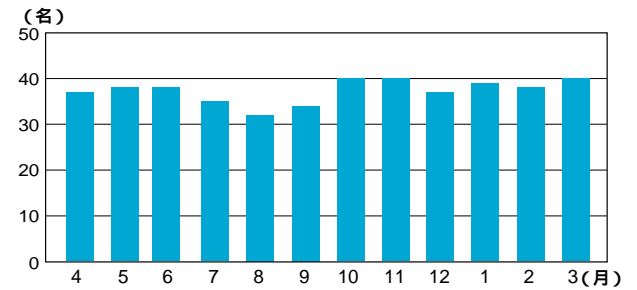
	かすみ	だいとう
給付管理数	168.0件	128.7件
委託プラン件数	71.5件	53.5件
委託率	42.6%	41.6%
新規利用者数	6.3名	5.3名
終了利用者数	3.5名	5.0名
ケアマネ担当件数	33.4件	32.2件

●SKIPトレーニングセンター

総利用者数推移



パーソナル利用者数推移



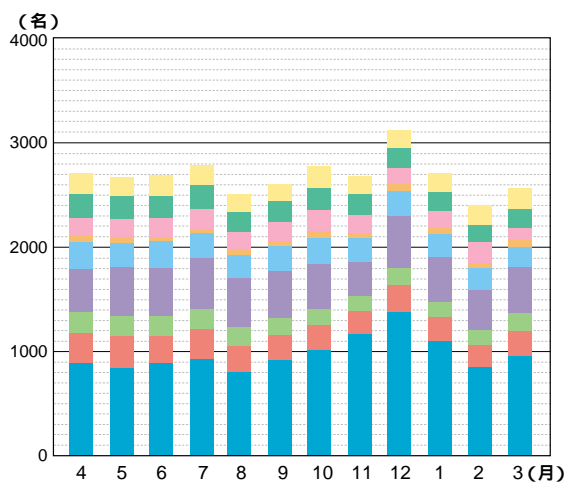
1ヵ月あたりの実績(2014年度平均)

利用者数	193.7名
延べ利用者数	2,005名
1日平均利用者数	66.7名
新規・終了	新規 19.6名 終了 19.6名
パーソナルトレーニング	利用者数 21.1名 実施回数 151.7回
ときも運動教室(市委託事業)	利用者数 12.1名 利用率 87.2%
SKIP運動教室	84名



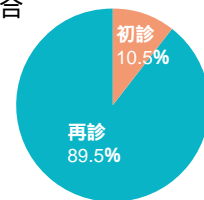
●外来(霞ヶ関南病院)

外来受診延べ患者数状況

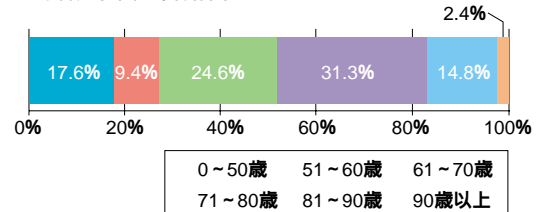


歯科
整形外科
眼科
泌尿器科
糖尿病内科
皮膚科
リウマチ科
リハビリ
内科

初診再診算定割合



年齢別来院者割合



全国訪問リハビリテーション協会 第4回学術大会 in 熊本 2014年6月7・8日

演題	所属等	演者
当事業所における提供頻度の少ない利用者の現状と課題	霞ヶ関中央クリニック 訪問リハビリテーション事業所	塩野入 勇太(理学療法士)

第15回日本言語聴覚士学会 in 埼玉・大宮 2014年6月28・29日

演題	所属等	演者
呑気症を呈した1事例に対する呼吸を中心としたアプローチ	すみれ病棟	大住 雅紀(言語聴覚士)

第30回 全国デイ・ケア研究大会2014 in 川越 2014年7月4・5日

演題	所属等	演者
活動の創造と拡大～グループワークを通して自宅に活かすための取り組みへ～	ケアラウンジ南大塚	双木 和巳(介護福祉士)
利用者が充実した生活を送るために介護職ができること	デイホスピタル	大原 智恵(介護福祉士)
ケアスタッフによる入浴プロデュース	デイリハビリテーションセンター	荒川 亜澄香(介護福祉士)
担当者会議の活用方法～SWの立場から～	デイリハビリテーションセンター	佐波古 恵理子(ソーシャルワーカー)

第12回 日本臨床医療福祉学会 in 小江戸川越 2014年8月29・30日

演題	所属等	演者
復期リハビリテーション病棟入院中より地域コミュニティへの参加援助を行った事例	けやき病棟	島崎 祐輝(作業療法士)
個性性をもった音楽活動の一事例～チームアプローチにおける音楽とは～	さくら病棟	猪狩 久美子(音楽療法士)
認知機能の低下を呈した方が役割を持つことの効果	すみれ病棟	橋本 秋乃(作業療法士)

リハビリテーション・ケア合同研究大会 長崎2014 2014年11月6～8日

演題	所属等	演者
通所で自宅の食事に関わるために ～全利用者への嚥下スクリーニング記録、アンケートから～	デイリハビリテーションセンター	渡部 祐介(言語聴覚士)
入退院時における医療機関とケアマネジャーの連携と情報提供のあり方について	居宅介護支援事業所しんしあ	鈴木 順子(介護支援専門員)
働く世代の介護者への支援～仕事を続けながら自宅で看取った事例を通して～	訪問看護ステーションスマイル	勝間田 聡子(看護師)
直接訓練移行までの当院 ST の評価視点 ～重度摂食嚥下障害患者への味わう機会の提供に向けて～	さくら病棟	上 あかね(言語聴覚士)
脱抑制・大声により自宅退院が困難と思われた方へのチームアプローチの一事例	やまぶき病棟	増田 由香(看護師)
回復期病棟の口腔ケアの意識向上への取り組み	さくら病棟	三田 優子(歯科衛生士)
在宅療養支援診療所看護師の役割～多職種との連携を考える～	訪問医療	川口 ひとみ(准看護師)

第22回 日本慢性期医療学会 in KUMAMOTO 2014年11月20・21日

演題	所属等	演者
尿道バルンカテーテル留置患者感染予防に対するクランベリージュース使用の試み	けやき病棟	佐渡 祐子(看護師)
エンド・オブ・ライフケアについての取り組み	ふじ病棟	金子 由紀絵(看護師)
咳嗽力の向上が誤嚥性肺炎の予防の一助となる	ふじ病棟	千葉 和正(理学療法士)

第2回 慢性期リハビリテーション学会 in 横浜 2015年3月14・15日

演題	所属等	演者
当院の生活期における嚥下造影検査の活用	すみれ病棟	白杵 美菜(言語聴覚士)
壮年期の方への役割再獲得に向けた在宅支援	ふじ病棟	工藤 麻那(作業療法士)
吸引後のアプローチにより呼吸状態の改善がみられた一症例	すみれ病棟	小芝 健(理学療法士)
入退院時における医療機関とケアマネジャーの連携と 情報提供のあり方について～第2報～	居宅介護支援事業所しんしあ	仲條 由貴子(介護支援専門員)
脳卒中片麻痺患者の立ち上がり動作介助量と上肢支持力の関連性について	けやき病棟	染谷 英昭(理学療法士)

●実習・施設見学受入状況

看護部

在籍校	受入人数
川越市医師会川越看護専門学校(准看護学科)	81名
川越市医師会川越看護専門学校(看護学科)	41名
西武文理大学 看護学部	42名
日本医療科学大学 看護学科	86名
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	2名

訪問介護 コール

在籍校	受入人数
文京学院大学	2名

医療福祉相談部

在籍校(順不同)	受入人数
武蔵野大学・文京学院大学・立教大学・日本社会事業大学	社会福祉援助技術実習 4名

見学施設(団体)数 10団体 242名

リハビリテーション部

在籍校	受入人数
文京学院大学・日本医療科学大学・埼玉県立大学・目白大学・菱メディカル・社会医学技術学院・医学アカデミー・帝京平成大学・北里大学・国立障害者リハビリテーションセンター学院・日本リハビリテーション専門学校・人間総合科学大学	総合実習 16名 評価実習 5名 見学実習 6名

訪問看護ステーション スマイル

在籍校	受入人数
川越市医師会川越看護専門学校	24名
毛呂病院看護専門学校	38名
目白大学看護部看護学科	6名

IP演習

在籍校	受入人数
埼玉県立大学・埼玉医科大学	6名

医局

在籍校	受入人数
埼玉医科大学(研修医)	3名

●震災支援ボランティア活動

2011年に発生した東日本大震災以降、社会福祉法人真寿会と医療法人真正会は、ボランティア活動を通して、事業理念の1つである「社会貢献」の実践を続けています。

■コミュニティー(応急仮設住宅、復興住宅等)巡回支援(2015.4.1現在)

期間:2011年10月5日～ 現在支援継続中(第2・4週火・水)

*福島県内(郡山市:富田、日和田、喜久田、せんだん広場 白河市:白河)

支援日数:延べ145日

スタッフ数:延べ631名/支援者数:延べ3,083名

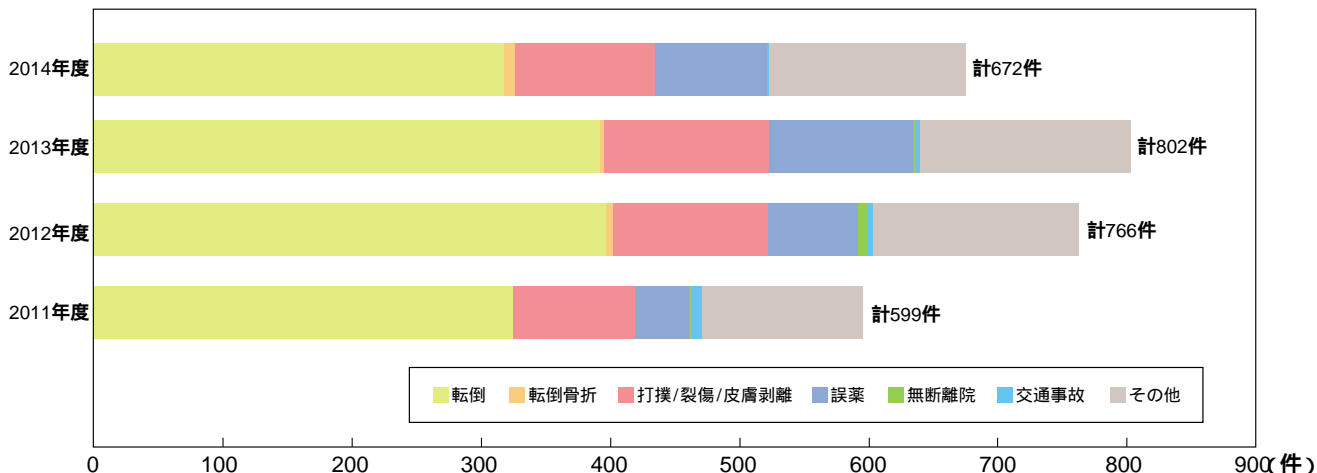
支援内容:個別支援、集団体操、創作活動、体力測定



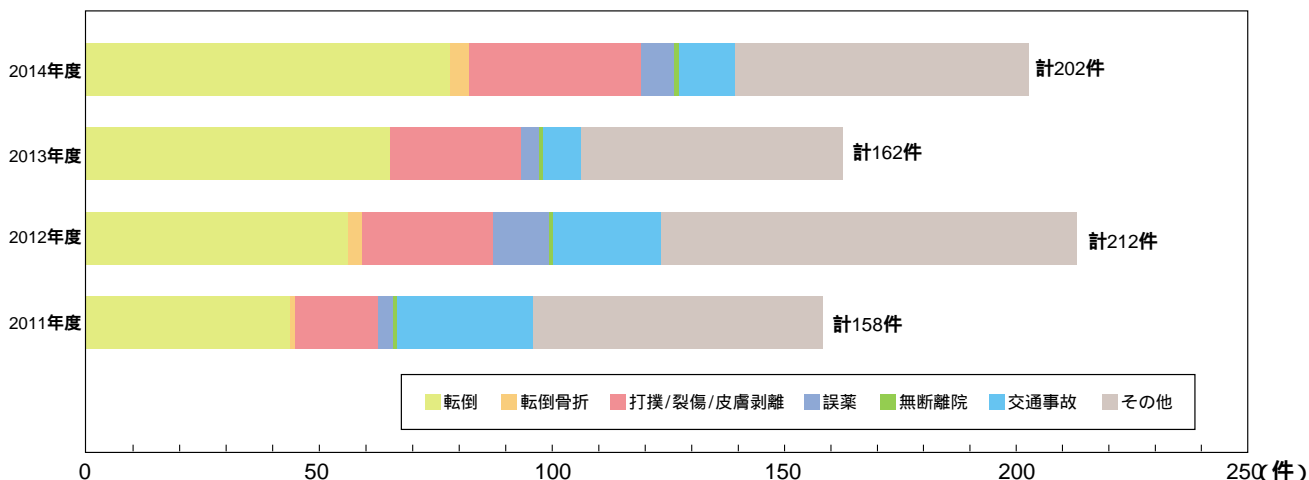
4月	1~10日	<p>新人研修 (26 名入職)</p> 	<p>1日 法人新人研修 2・3日 新人ケア研修 5日 ワークショップ 「ケアプランについて」 11日 第21回 地域感謝祭 15~24日 海外研修 (カナダ)</p>  
	4~5日 9日 9・10日 20日	<p>新人宿泊研修 ガレリアスペシャルコンサート 災害ボランティア再開 ボランティア感謝の集い</p>	
5月	7日 9日 10日 15日	<p>災害時メール配信システム導入 マルチスライスCT スキャナー導入 地域リハビリテーション・ケア サポートセンターの 県知事指定受託 真寿会・真正会 合同就職説明会 (16 名参加) ウェルカムパーティー (330 名)</p> 	<p>22日 ASEAN 視察来院</p>  <p>27日 予演会 (4 演題) 28日 予演会 (4 演題) 31日 ASK会バレーボール大会 (優勝 さくら・けやき合同チーム)</p>
	29日	バレーボール大会 (優勝 コミケア A チーム)	
6月	4日 6日	<p>院内勉強会 「医療的処置のある方への基本的注意事項」 (参加 18 名) 院内勉強会 「医療的処置のある方への基本的注意事項」 (参加 23 名)</p>	<p>6~8日 リハビリテーション・ケア合同研究大会 長崎 2014 9日 第10回 日本介護経営学会 (米子) 10日 予演会 (3 題) 11・12日 職員旅行 (新潟)</p> 
	14日 17日 21日 24日 25日 28・29日	<p>コミケア部 介護者交流会 (参加者 30 名) 予演会 (3 演題) 看護・介護・リハ合同病院説明会 予演会 (2 演題) バイキング (病棟) 第15回 日本言語聴覚士学会 in 埼玉・大宮 (1演題発表)</p>	
7月	4・5日	<p>第30回 全国デイ・ケア研究大会 2014 in 川越大会 主管</p> 	<p>19日 院内勉強会 「FIMについて」 (参加者 8 名) 20・21日 第22回 日本慢性期医療学会 in KUMAMOTO (3 演題発表) 26日 院内勉強会 「FIMについて」 (参加者 36 名)</p>
	6~16日 16日 18日 19・20日 21日 25・26日 27日	<p>海外研修 (オランダ) 4 名 院内勉強会 「義歯の基本知識」 (参加者 15 名) 院内勉強会 「義歯の基本知識」 (参加者 21 名) ワークショップ役職者研修 (伊佐沼えすばわー) 看護・介護・リハ合同病院説明会 (9名) 三法人戦略会議 (新潟) ふれあい看護体験 (26 名)</p> 	
8月	5~7日 22日 29・30日	<p>税務調査 予演会 (4 演題) 第12回 日本臨床医療福祉学会 in 小江戸川越 主管</p>	<p>1日 もっと元気が出る！講演会 講師：浜村明德先生、栗原正紀先生 13日 ガレリアクリスマスコンサート</p>  <p>16日 理事長講話 (参加者 120 名以上) 17日 理事長講話 (参加者 120 名以上) 29日 法人忘年会 (391 名)</p>
	10日 15日 17日 20・21日 25日 29日 ~10/2	<p>院内勉強会 「介護保険の基礎知識」 敬老の日を祝う会 院内勉強会 「介護保険の基礎知識」 第56回 全日本病院学会 (福岡)) 第3回 ASK会 (会場：川越胃腸病院) IP 演習</p>	
9月	10日 15日 17日 20・21日 25日 29日 ~10/2	<p>院内勉強会 「介護保険の基礎知識」 敬老の日を祝う会 院内勉強会 「介護保険の基礎知識」 第56回 全日本病院学会 (福岡)) 第3回 ASK会 (会場：川越胃腸病院) IP 演習</p>	<p>1日 お屠蘇</p>  <p>17日 ガレリアニューイヤーコンサート 17・18日 ワークショップ 「認知症ケアについて」 21日 院内勉強会 「明日から使えるコミュニケーション手段～失語症～」 (参加者 42 名) 28日 院内勉強会 「明日から使えるコミュニケーション手段～失語症～」 (参加者 50 名) 30日 川越市保健所立入検査 (霞ヶ関南病院)</p>
	5~7日 22日 29・30日	<p>税務調査 予演会 (4 演題) 第12回 日本臨床医療福祉学会 in 小江戸川越 主管</p>	
10月	15~24日	<p>海外研修 (カナダ)</p>  	<p>22日 ASEAN 視察来院</p>  <p>27日 予演会 (4 演題) 28日 予演会 (4 演題) 31日 ASK会バレーボール大会 (優勝 さくら・けやき合同チーム)</p>
11月	6~8日 9日 10日 11・12日	<p>リハビリテーション・ケア合同研究大会 長崎 2014 第10回 日本介護経営学会 (米子) 予演会 (3 題) 職員旅行 (新潟)</p> 	<p>19日 院内勉強会 「FIMについて」 (参加者 8 名) 20・21日 第22回 日本慢性期医療学会 in KUMAMOTO (3 演題発表) 26日 院内勉強会 「FIMについて」 (参加者 36 名)</p>
12月	1日 13日	<p>もっと元気が出る！講演会 講師：浜村明德先生、栗原正紀先生 13日 ガレリアクリスマスコンサート</p> 	<p>16日 理事長講話 (参加者 120 名以上) 17日 理事長講話 (参加者 120 名以上) 29日 法人忘年会 (391 名)</p>
1月	1日 17日 17・18日 21日 28日 30日	<p>お屠蘇</p>  <p>17日 ガレリアニューイヤーコンサート 17・18日 ワークショップ 「認知症ケアについて」 21日 院内勉強会 「明日から使えるコミュニケーション手段～失語症～」 (参加者 42 名) 28日 院内勉強会 「明日から使えるコミュニケーション手段～失語症～」 (参加者 50 名) 30日 川越市保健所立入検査 (霞ヶ関南病院)</p>	<p>27・28日 回復期リハビリテーション学会 第25回 研究大会 in 愛媛</p>
2月	27・28日	回復期リハビリテーション学会 第25回 研究大会 in 愛媛	
3月	3日 14・15日	<p>予演会 (5 演題) 第2回 慢性期リハビリテーション学会 in 横浜 (5 演題発表)</p>	

● 事故届事例分類

ホスピタルケア部



コミュニティケア部



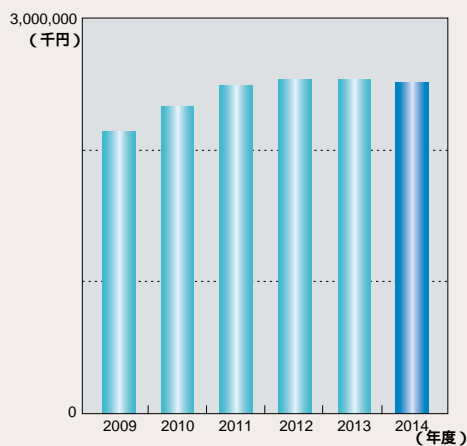
● 職員構成 (2015年5月1日現在)

職種	常勤	非常勤	合計	職種	常勤	非常勤	合計
医師	12	33	45	放射線技師	2	-	2
正看護師	76	30	106	薬剤師	5	-	5
准看護師	32	7	39	薬剤助手	1	1	2
介護福祉士	69	24	93	管理栄養士	11	-	11
ケアワーカー	18	12	30	オールウェイズ	-	4	4
理学療法士	77	1	78	歯科衛生士	7	4	11
作業療法士	55	1	56	臨床検査技師	2	-	2
言語聴覚士	41	-	41	視能訓練士	-	1	1
音楽療法士	1	-	1	事務	45	3	48
健康運動士	6	1	7	用務	-	29	29
レクワーカー/リハ助	4	-	4	保育士	7	1	8
社会福祉士	19	-	19	登録H・入浴	-	10	10
ケアマネジャー	7	-	7	合計	504	162	666

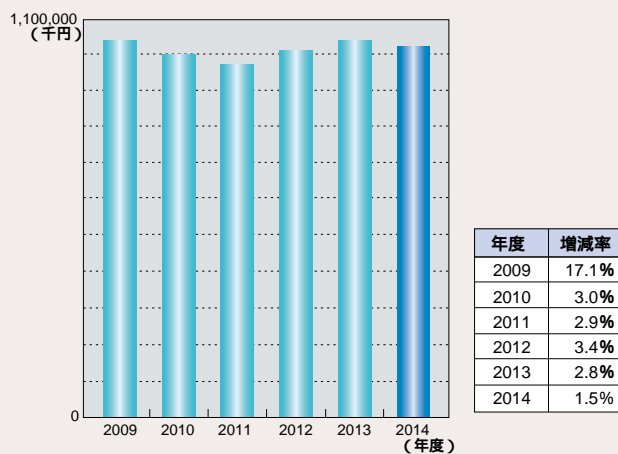
Financial Summary

主な収入 Income

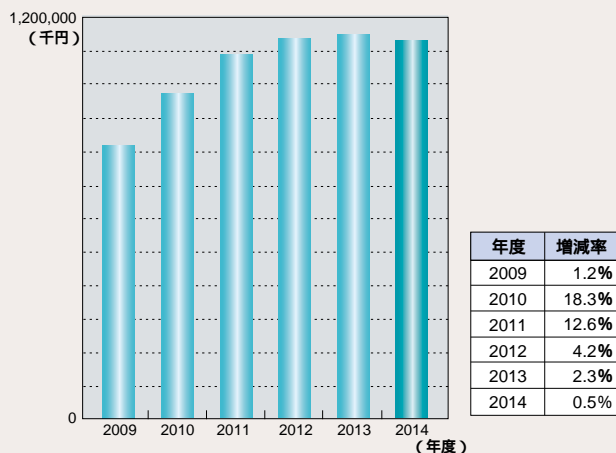
入院収入



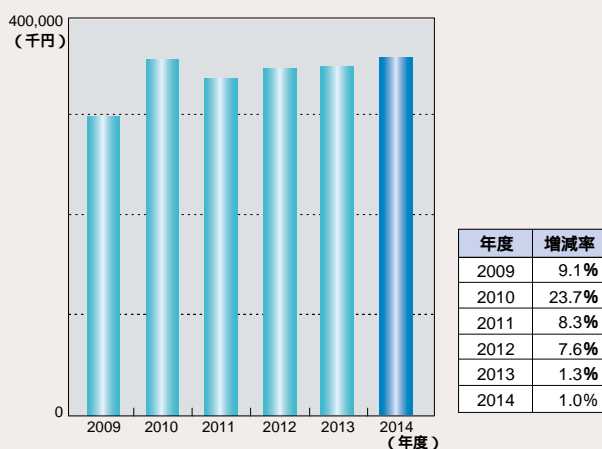
外来収入



リハビリ収入

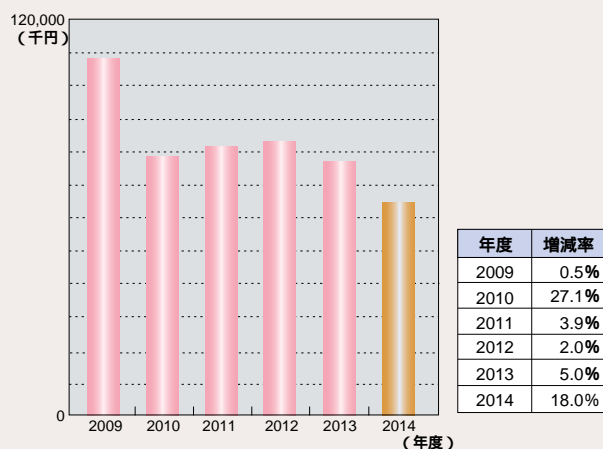


室料差額収入・その他収入

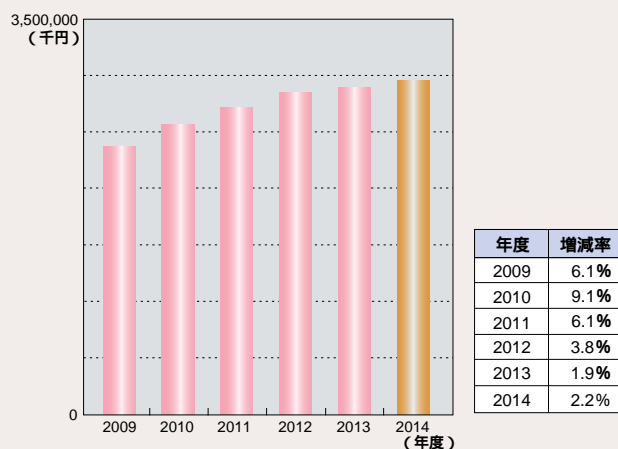


主な支出 Expenditure

薬品費



給与費



Chronology

1972年	(昭和47年)	霞ヶ関中央病院開設
1976年	(昭和51年)	病院ボランティア導入
1977年	(昭和52年)	特別養護老人ホーム真寿園設立
1978年	(昭和53年)	霞ヶ関中央病院 98床に増床
1980年	(昭和55年)	霞ヶ関中央病院 108床に増床
1980年	(昭和55年)	霞ヶ関中央病院 デイホスピタル設置
1982年	(昭和57年)	霞ヶ関中央病院 120床に増床
1982年	(昭和57年)	川鶴診療所開設
1984年	(昭和59年)	霞ヶ関中央病院 200床に増床
1985年	(昭和60年)	会員組織「かすみ会」設置(保健・予防)
1987年	(昭和62年)	霞ヶ関南病院開設(100床)
1988年	(昭和63年)	デイホスピタル、霞ヶ関南病院に移設
1988年	(昭和63年)	霞ヶ関中央病院 リハビリテーション部門承認(理学・作業療法)
1990年	(平成2年)	霞ヶ関南病院 在宅医療開始
1994年	(平成6年)	訪問看護ステーション「やさしい手」開設
1998年	(平成10年)	訪問看護ステーション「スマイル」開設
1998年	(平成10年)	霞ヶ関南病院、療養型病床(127床)認可
1998年	(平成10年)	霞ヶ関南病院・総合リハビリテーション施設認可
1999年	(平成11年)	霞ヶ関南病院・在宅介護支援センター「かすみ」開設
1999年	(平成11年)	霞ヶ関中央病院の外来機能を拡張、強化(一般36床、療養型50床)
1999年	(平成11年)	霞ヶ関南病院(療養型199床)
2000年	(平成12年)	ホームヘルパーステーションコール開設
2000年	(平成12年)	ホームヘルパー養成研修開始
2000年	(平成12年5月)	霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟(やまぶき・42床)承認
2000年	(平成12年7月)	霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟(さくら・42床)承認、計84床
2001年	(平成13年10月)	霞ヶ関中央病院、一般病棟36床を介護療養型病床へ 計86床
2001年	(平成13年10月)	霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟(すみれ・37床)承認、計121床
2002年	(平成14年3月)	霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟(けやき・37床)承認、計158床
2002年	(平成14年4月)	地域リハビリテーション広域支援センターの中核医療機関となる
2002年	(平成14年6月)	SKIPトレーニングセンター竣工
2003年	(平成15年5月)	安比奈クリニック開設
2004年	(平成16年5月)	霞ヶ関中央病院 医療療養病床へ 計86床
2004年	(平成16年7月)	通所介護「ケアラウンジ南大塚」開設
2005年	(平成17年10月)	霞ヶ関南病院 アネックス棟増築
2005年	(平成17年11月)	霞ヶ関南病院 財団法人日本医療評価機構 認定
2006年	(平成18年4月)	川越市地域包括支援センター「かすみ」開設
2006年	(平成18年7月)	霞ヶ関中央病院デイリビング(通所リハビリテーション)開設
2006年	(平成18年7月)	霞ヶ関中央病院86床より77床へ
2006年	(平成18年9月)	川鶴診療所閉院
2007年	(平成19年4月)	障害者一般病棟(すみれ37床ふじ41床)承認、計78床 回復期リハビリテーション病棟(けやき37床さくら42床やまぶき42床)承認計121床
2007年	(平成19年8月)	霞ヶ関南病院外来棟オープン
2008年	(平成20年8月)	BLENZ COFFEE 霞ヶ関南病院店 open
2009年	(平成21年5月)	霞ヶ関南病院 通所介護「デイリビング」開設 霞ヶ関中央病院 通所リハビリテーション「デイ・リハビリテーションセンター」に名称変更
2009年	(平成21年6月)	霞ヶ関中央病院(77床)閉院 霞ヶ関中央クリニック(19床)開設 安比奈クリニック閉院(霞ヶ関中央クリニックへ統合)
2010年	(平成22年12月)	通所介護「デイリビング」、デイ・リハビリテーションセンターに機能統合
2012年	(平成24年4月)	川越市地域包括支援センター「だいとう」開設
2012年	(平成24年8月)	回復期リハビリテーション病棟123床へ 医療療養病床39床へ(ふじ病棟)
2012年	(平成24年10月)	訪問リハ サテライト事業所開設
2013年	(平成25年7月)	法人年表設置
2014年	(平成26年3月)	福島県社会福祉協議会より表彰(東日本大震災社会福祉功労表彰)
2014年	(平成26年5月)	地域リハビリテーション・ケア サポートセンターの県知事指定受託



真正会
Shinseikai

rehabilitation & community care

Annual Report

2014-2015

DATA FILE